

# Andra Gauge™

アンドラゲージ

## 使用方法

OA 咬合採得の場合：

印象採得後、本品を使用して下顎前方位での咬合採得を行う。

STEP 1



矢状

前方、後方

垂直

前後方向を調整する青のクレードルのネジを緩め、  
青のV字型溝が下顎中切歯切縁に嵌合するよう、青のクレードルを回して調整する。

STEP 2



STEP 3

前歯部歯列の叢生等でV字型溝が切縁に嵌合しない場合には、  
V字型溝を切削して広げ、嵌合させるとよい。



アンドラゲージ 商品紹介動画  
@Youtube (英語)

STEP 4



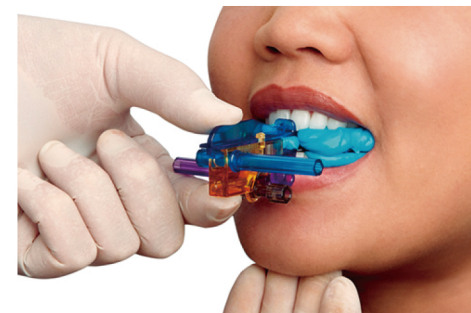
ゲージで最大前方滑走距離を計測したら、約2/3前方位でねじ止める。

STEP 5



患者を水平位にして手鏡を見せ、  
顎の痛み・張り、口唇の閉鎖具合、  
いびきの出方等を確認しながら、  
下顎の前突量を微調整する。

STEP 6



下顎位が決定したら、シリコンバイト材を用いて咬合採得する。  
ガンタイプのみキシングチップを側方からバイトフォークに注入する際、  
左右臼歯部から前方に注入し、正中部を繋いで一体にするとバイト材が  
本品から外れにくく、安定する。

STEP 7

前後方向は0の表示より前方7mm、後方5mmまで可動するため、  
被蓋の深い場合は上下逆にして使用するとよい。